



兵庫県議会 報告

自由民主党県会議員団の福島茂利です。新型コロナウイルスの影響が深刻さを増しております。地域の厳しい実情に対して、少しでもお役に立てるように全力を尽くしてまいります。なお、令和2年度における兵庫県の予算がまとまりましたので、概要をお伝えいたします。併せて、福島茂利の活動内容などを報告いたします。

令和2年度兵庫県予算の概要

令和新時代兵庫の挑戦

■ 予算の編成方針

2030年の展望で描いた「すこやか兵庫」の実現。あらゆる分野の質を高めるための種をまき育てていく。大きく後れをとってしまった社会資本整備や町の再整備に取り組む。

■ 予算規模

全会計	3兆9,549億円 (+1,730億円、+4.6%)
-----	-------------------------------

(内訳)

一般会計	1兆9,956億円 (+602億円、+3.1%)
特別会計	1兆6,866億円 (+1,158億円、+7.4%)
公営企業会計	2,727億円 (△30億円、△1.1%)

※一般会計とは、教育、福祉など、主に県税や地方交付税で、地方公共団体の行政運営の基本的な経費を網羅して経理する会計のことです。

※特別会計とは、国民健康保険事業、介護保険事業、老人保健事業などの特定の歳入・歳出を一般会計と区別して経理するための会計のことです。

※公営企業会計とは、上下水道などの独立採算を原則とする事業の会計のことです。

■ 歳出の特徴

① 行政経費

7,847億円
(対前年度比：+11.9億円、+1.4%)

・融資残高の減少により、中小企業制度資

1

金貸付金を減(△108億円)

・社会保障関係費は、幼児教育や高等教育の無償化等の制度を充実(+178億円)

② 投資的経費(災害復旧事業を除く)

2,121億円(+16億円、+0.7%)

※災害復旧事業を入れると2,263億円

【2,629億円(+193億円、+7.9%)「14か月予算」】

・地方財政計画の水準を基本としつつ、防災減災、国土強靱化推進のための3か年緊急対策や、新たに創設された緊急浚渫推進事業などを別枠で計上。
・経済対策補正と合わせた14か月予算で、+193億円の事業費を確保。

新型コロナウイルス感染症対策に伴う令和元年度補正予算(繰り越し見込み)

① 社会福祉施設等での感染拡大防止、入院病床確保や外来医療体制の強化など「感染拡大防止と医療・検査体制の充実」として14億6,900万円。

② 生活資金の貸付、臨時休業中の放課後等デイサービスの利用者負担の支援や児童生徒の相談対応など「県民生活の安心確保」として13億1,400万円。

③ 中小企業の売上減少への対応など「事業活動への支援」として(既定の融資枠で対応)

経営円滑化貸付の拡充(1企業・1組合につき2億8,000万円、別枠もあり)、借換等貸付の拡充(1企業・1組合につき2億8,000万円)、経営活性化資金の拡充(1企業・1組合につき2億8,000万円)。

兵庫県から 神戸市への支援 事業費

2

神戸市が申し入れた 86事項に対して支援事業を決定

神戸市からの申し入れ事項に対する、兵庫県の支援としては下記の通りです。

兵庫県は令和2年度当初予算に関して、神戸市からの申し入れのあった86事項に対して支援を行うことを決定し、神戸市に対して支援の回答を行いました。

86事項に対する支援事業の一部を紹介します。

① 乳幼児等医療費助成事業

0歳から小学校3年生までを対象に、入院医療費と通院費に関して8億3,500万円の助成を行う。

② こども医療費助成事業

小学4年生から中学3年生までを対象に、入院医療費と通院費に関して、2億4,600万円の助成を行う。この結果、助成対象年齢は全国トップクラスの高い水準となります。

③ 神戸市医師会急病診療所の耳鼻咽喉科の休日における運営費の補助および小児科救急対応病院輪番制運営費

甲南医療センター、神戸中央病院、済生会兵庫病院、神戸医療センター、西市民病院、西神戸医療センター等に補助金合計額として1,400万円の助成を行う。

これらの回答に対して、久元神戸市長より県に対して、「感謝します」との意向が示されました。